

藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長

市川市長 田中 甲



市川市芸術文化団体協議会の能村会長をはじめ会員の皆様におかれましては、長きにわたり本市の芸術文化の普及、発展に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、分野の垣根を越えた芸術文化団体の相互理解、協力を推進するとともに、市民が本市の歴史や芸術文化を身近に触れられる機会を創出され、中核的な役割を担っていただいておりますことに深く敬意を表します。

市長に就任し、本市が豊かな自然や歴史、文化資産に恵まれた土地柄であり、多くの芸術家や文化人に愛されてきた文教都市であることを改めて実感いたしました。9月に開催された芸術文化集会では「市川市の芸術文化をもっと盛り上げていこう」という皆様の熱意を肌で感じ、決意を新たにいたしました。市民の皆様が芸術文化をより身近に感じられるよう取り組んでまいりますので、今後とも皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

文化の殿堂のリニューアルオープン

市川市芸術文化団体協議会

会長 能村 研三



2022年は年が明けて間もなく国内の新型コロナウイルス感染者が五百万人を越えるなど、中々収束の気配が見えない中、二月にはロシアによるウクライナ侵攻という国際情勢にも不安な影がしのび寄りました。

そんな中、私たちの市民文化活動もウィズコロナを見据えながら粛々とした活動が始まりました。二月に予定した「天空の文化祭」はコロナ感染者の拡大により中止をせざるを得なくなったことは残念でもありました。

私たちが市川の文化活動を行うものにとって、何よりのビックニュースは4月に市川市文化会館がリニューアルオープンしたことです。リニューアルオープンを機に、市民から選ばれた愛称を使うこととなり、イベント開催の折のチラシにもその名が刷り込まれるようになりました。施設も、随所にバリアフリーが施され、大ホールへも新設されたエレベーターが使えるようになったことや、客席もページジュを色調とした、ゆったりとした席に変わり座り心地もよくなったのも大変うれしいことです。

八月には文化会館のリニューアルオープンを記念して、市主催による「カルチャー&アーツフェア」が開催され、私たち芸文協と市内で活躍する個人アーティストが集い、さまざまなジャンルの舞台公演と芸術作品を展示する夏の芸術文化フェアを開催することが出来ました。展示には市川市手工芸連盟、市川市花道協会、市川市俳句協会、装道礼法きもの学院千葉県認可連盟市川支部、芳香社、輪の輪工芸美術会が参加し、舞台公演には市川市芸能協会のゆうづる太鼓、市川市洋舞踊協会、市川民話の会の皆さんに参加いただき、私たち芸文協の枠の中に部外の市川市吟剣詩舞道連盟及びクオーレ・ド・オペラ男声合唱団の皆さんも参加いただいたことはうれしいことでした。

また9月18日には秋の文化集会が、全日警ホールで開催され、今年は「窓」をテーマにした文化集会となりました。今年三月に当選された田中甲市長に特別講演をお願いし、市川市の文化振興に対する熱いお考えを披露していただいたことも有難いことです。

私たちが芸文協は来令和6年に設立50周年を迎えることになり、その記念事業に向けて準備が始まりました。

それまでの間に市川市の行政とともに連携しながら、より市民文化の発展のために一層努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力、ご支援をお願いしたいと思います。



カルチャー&アーツ フェアを振り返って

ICHIKAWAカルチャー&アーツフェア
市川芸術文化団体協議会 副会長 酒井 玄枝

市内で活動する芸術文化団体や個人アーティストが集い、さまざまなジャンルの舞台公演と芸術作品を展示する夏の芸術フェアとして新しい形の文化イベントがリニューアルした文化会館で開催されました。

市民の皆様がより身近に文化芸術に触れて頂き、コロナ禍で活動の制約を余儀なくしている市内の文化芸術活動の再活性も大きな目的としています。

私たち芸術文化団体協議会は、市川市と共に主幹団体として市内で活動される文化団体に呼び掛け、今回のイベント開催に役割を果たしました。芸文協は後期を担当(前期8月8日〜14日文化振興財団アーティストバンクによる)、展示部門は8月15日(月)〜21日(日)文化会館の展示室にて、市川市手工芸連盟・市川市花道協会・市川市俳句協会・装道礼法きもの学院千葉県認可連盟市川支部・芳香社・輪の輪工芸美術会による充実した作品が展示されました。

8月20日(土)ホール公演はアンサンブル市川・八幡囃子保存会・光江流かつぽれ・フルートキヤトル・フィオーレ・オペラ協会のそれぞれの素晴らしいステージ。

21日(日)は、ゆうずる太鼓・市川市洋舞踊協会・市川民話の会・市川市吟剣詩舞道連盟の公演が行われ、出演者もリニューアルした小ホールでの素晴らしい舞台をお客様と共に楽しみました。

短い準備期間でご出演、ご協力頂いた各団体に心より感謝申し上げます。新しい形の文化祭がどのように変化していくのか全くの未知数ではありますが、市内で活動

する文化団体と共に、市川市の更なる文化芸術の充実と、各団体の更なる活動の為に生かされる事を期待しています。



文化集会特集です

文化集会基調講演

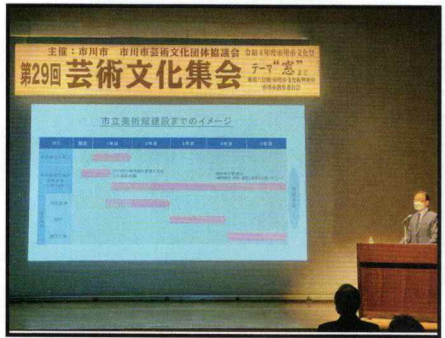
テーマ「文化都市・市川の未来」
講師 市川市長 田中 甲 氏

基調講演を拝聴して
市川芸術文化団体協議会 事務局 本池美佐子

今年度の芸術文化集会の基調講演は「文化都市・市川の未来」をテーマに、新しく市川市長に就任されました田中 甲 氏にお願いしました。

今回の基調講演ではパワーポイントを使って市川の文化の未来を語っていただきました。市長の公約のひとつでもある美術館の開設について、建設完成までのイメージを映像で示されたことにより、市川市の芸術文化の未来の一端を見ることが出来ました。

市民と市政の協力により、文化都市・市川が更に発展するよう期待しています。芸文協がその仲立ちを担う事が出来れば嬉しい限りです。



文化集会・展示

作品展示は、八幡市民会館(全日警ホール)第2展示室とギャラリー

九月十三日〜十八日の六日間にわたって行われました。今回は市川市手工芸連盟、芳香社が不参加となったため、市川市花道協会、市川市俳句協会、輪の輪工芸美術会、宗左近・蕊の会、和心会、紫翠庵の五団体による展示となりました。

市川市花道協会と市川市俳句協会は、ギャラリーにおいて、三点の花道作品に俳句三句を寄り添う形で展示しました。大変美しく洗練された文化度の高い作品で、芸文協ならではのコラボ展示となりました。俳句協会では他に市川の俳人として能村登四郎はじめ、これまでに活躍された主な俳人を紹介。また市川市俳句協会会長の能村研三ほか役員による文化集会のテーマである「窓」を詠み込んだ俳句を展示し、充実した内容となりました。

輪の輪工芸美術会は、壁面を利用して渡辺成良代表の「窓」と題したレリーフをはじめ会員の油彩画、日本画、刻字、ガラスケースには人形、陶芸、組紐、中央の展示台には陶芸、彫刻、造形、竹細工を展示しました。ゆとりある会場を有効に利用し、輪の輪工芸美術会の特性を活かして多彩な展示を行うことができました。

(文) 田草川信慈 芸文協幹事





文化集会・公演

公演は、八幡市民会館（全日警ホール）ホールのホールで、九月十八日に行われました。今回は、市川市洋舞踊協会、装道礼法きもの学院千葉県認可連盟市川支部、市川市合唱連盟、市川市芸能協会が参加致しました。

市川市洋舞踊協会は、三沢モダンバレエ&ジャズダンススタジオ、すみれバレエクラシックの皆さんが出演。装道礼法きもの学院千葉県認可連盟市川支部の着付のステージは、現役の大学生の皆さんによる舞台での着付の演技は、初めて見るもので素晴らしいものでした。市川市合唱連盟は、女声合唱団コール・マーマの落ち着いた歌声は会場の皆さんもじっくり聞き入るものでした。最後に市川市芸能協会は、光江流かつぼれのかつぼれ演舞と八幡下町ゆうづる太鼓の和太鼓は日本古来の芸能の良さを改めて感じさせてくれるものでした。

(文 稲葉健二 芸文協幹事)



市川市合唱連盟
女声合唱団コール・マーマ



市川市洋舞踊協会
三沢モダンバレエ&ジャズダンススタジオ



市川市芸能協会
光江流かつぼれ



市川市芸能協会
ゆうづる太鼓

加盟団体の近況・活動予定

加盟団体の今後の活動予定や近況を掲載。一部は今年度の活動、団体の紹介も掲載しています。

市川交響楽団協会

市響「交響楽の午後」
2022年7月10日、市川交響楽団協会創立70周年シリーズとして、第422回「交響楽の午後」を開催いたしました。バツハ「管弦楽組曲第3番」、ブラームス「ネニエ（哀悼歌）」、マーラー「大地の歌」を市響ジュニアオーケストラ出身で、市響とは大変深く深く関わっている、三原明人先生のタクトで、市川交響楽団、市川混声合唱団、行徳混声合唱団が参加しました。

市川交響楽団協会は昭和26年（1951）7月に発足し、年間7〜8回の定期の演奏会を行っております。千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者を増やし、平和で潤いのある生活が満ち溢れることを願う文化団体です。

今年度開催予定活動

第426回 市川交響吹奏楽団定期演奏会
2023年、2月11日（土）
市川市文化会館大ホール

市川市花道協会

花道協会令和4年度の活動

コロナ禍による緊急事態宣言に伴い、いけばな展、総会、春の研修旅行が中止となりました。直前での中止で不用となつてしまったいけばな展のポスターやハガキをSDGsの取り組みとして鍋敷きや菓子籠に再生する等、知恵を出し合いながら協会としてできることに取り組んで参りました。

秋晴れの11月4日、佐倉の川村美術館にて研修旅行を実施。現地集合、現地解散の小旅行ではありましたが、紅葉した自然を愛でながらの会食は、花に携わる私達にとって至福のひと時でした。新年懇親会は2月5日、栃木家で新春を祝います。

令和五年3月3日〜5日は、「いけばな展」を文化会館にて開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。



市川民話の会

市川民話の会の活動

今年度は、毎年秋に行っている市川市文化祭「市川の民話のつどい」が45回目を迎えた。コロナで中断したが、45年間続いてきたことになる。その間、市川に伝わる多くの民話を市民に知っていただきたいと、

近年は会員の語りを中心に発表してきた。今年度は採訪のVTRや八幡の藪知らずを題材にした映像等も加え、多くの方に見ていただくことができた。

また、5月曾谷公民館「曾谷の民話を知ろう」、7月市川公民館「ぞっとする市川の民話」、8月雑学大学院「市川の三人の姫―手児奈・百合姫・常磐井宮」、9月巡回展in八幡「八幡近辺の話」、12月柏井公民館「子ども寺子屋」、新浜小学校、宮久保いきいきセンターでの毎月の民話の会など、出前語りも楽しく聞いてもらった。

今年度開催予定の語り活動

・高齢者サポートセンター 一月
・宮久保いきいきセンター 毎月第3木曜日



市川市手工芸連盟

令和4年9月14日〜18日市川市手工芸公募展を文化会館展示室にて3年ぶりに開催しました。来場者にも大変好評で、寄せられた作品もレベルの高い作品が多く中身の濃い展示会になりました。また、令和4年11月30日〜12月4日に「秋の作品展とチャリティー」を全日警ホール2階展示室にて開催致しました。多くの方にご来場頂きました。

今年度開催予定活動

○令和5年3月22日〜26日春の作品展を中山清華園にて行います。
(事情により中止となる場合があります。)

市川市合唱連盟

令和4年11月19・20の両日、市川市の空に合唱の響きが流れた。

新型コロナウイルスの影響で2回にわたり延期となり、3年ぶりに実現した市川市合唱連盟主催「合唱祭」のハートモニーである。41の参加団体からおよそ800名が久しぶりに舞台に立ち、晴れやかな姿を披露した。団員もお客様もマスク姿であったが、この3年間、何となく合唱に対するモチベーションを欠いていた影を一度に吹き飛ばす感じがした。

このほか合唱連盟は様々な活動を行っている。合唱講習会や毎年葛飾区合唱祭にも参加しているほか、加入団体同士によるジョイントコーラスの会を企画するなど、連盟の合言葉である「聴き合う」コーラスの場を増やそうと努力している。

今年度開催予定活動

市川市合唱セミナー2022
令和5年2月26日(日)

市川市文化会館 大会議室
講師 野本立人 ピアノ 中村美枝子

市川市洋舞踊協会

今年度開催予定活動

令和4年度 市川市洋舞踊合同公演
2023年3月26日(日)

開場 午後2時 開演 午後2時30分
第1部・小品集

参加団体4団体のそれぞれの個性を生かした作品発表
第2部・合同作品

スクリーンミュージック 4団体で創作したもの一つの作品にまとめました
出演団体

- ☆クラシックバレエ「ジュエツト」
- ☆すみれバレエクラシック
- ☆三沢モダンバレエジャズダンススタジオ
- ☆横井亜紀バレエスクール

市川オペラ振興会

今年度の市川オペラ振興会は、リニューアルされました市川市文化会館大ホールにて、2022年11月13日(日)に、「市川市文化会館リニューアル記念ガラ・コンサート」世界に祈りを込めてと、題しまして、サルヴァトーレ・ピエーデイスカルツィ氏(ゲスト・ヴァイオリン)を、お迎えして多くのオペラ歌手、ピアニスト2名と、おかげをもちまして、盛大にお送りすることが、出来ました。

今回始めに、新市長 田中 甲先生の、お話とオペラの歌をご披露くださるサプライズもございました。



市川市俳句協会

今年度開催予定活動

行事名 新春展

内容 市川市、市川市俳句協会、市川市短歌協会、市川市川柳協会の共催によるそれぞれの芸術祭における優秀作品(俳句、短歌、川柳の色紙・短冊)の展示

時期 2023年1月19日
12時より

2023年1月25日
17時まで

(この間の展示は10時~17時
休館日を除く)

場所 中央図書館ロビー
(生涯学習センター1階)

市川市芸能協会

市川市芸能協会と地域自治会と共催して行う、第7回「八幡芸能祭」は、2022年10月30日(日)に、八幡市民会館(全日警ホール)で開催致しました。加盟9団体による、日頃の成果の発表に多くの方にご来場頂きました。ジャンルは幅広く、カラオケ、お囃子、和太鼓、かつぽれ、新舞踊、歌謡舞踊、日本舞踊、創作日舞、銭太鼓です。当日は、今までコロナ禍で見学を遠慮していた方たちが集まったような雰囲気、開始から終演まで秋の一日を楽しんで頂きました。



輪の輪工芸美術会

今年度開催予定活動

事業名

ユニバーサルチャリティ

輪の輪会員小品展

内容 工芸・立体・平面等の
作品展示即売会

日時 令和5年1月17日(火)
20日(金)

10時~17時
(初日13時~17時)

会場 八幡市民会館(全日警ホール)
第二展示室&文化の広場
よろしく願っています。

芳香社

今年度開催した活動

第47回日本自由画壇展 6月15日~27日
国立新美術館にて開催

第41回芳香社展 7月10日~17日
市川市文化会館にて開催

日本自由画壇秋季展 9月28日~10月5日
東京都美術館にて開催

本年度は予定通りに行うことが出来、特に芳香社展は3年ぶりの開催になりました。コロナ禍で来場者が例年に比べ少なく淋しい思いでしたが、来年度は多くの方に展覧会へ来ていただけることを期待しています。

装道礼法きもの学院 千葉県認可連盟市川支部

今年度開催予定活動

二〇二三年一月二十二日(日)

「日本の心と美の祭典 きもの装いコンテスト関東大会」が千葉県で開催されます。

きもの装いコンテスト関東大会は、関東各地から出場者が着付けの所作と立ち居振る舞いの美しさが展開されます。

振袖・留袖・カジュアル・こども・外国人・学校対抗の各部門があります。鏡のない舞台上で一人でいかに美しく装えるかが競われます。

会場は千葉県文化会館、開場十一時となっております。この大会は、関東一都六県の持ち廻りで、今回千葉県が担当です。

全国六地区で地方大会が開かれそこで入賞した人たちが一同に集い、令和五年八月、東京にて世界大会が開催されます。



宗 左近・森の会

2022年は、コロナによって休止を余儀なくされていた活動を徐々に再開する年となった。

6月5日は、宗の没後10年を記念して2016年に里見公園に詩碑を設置した記念日。この日に合わせ、碑の作者である中村ミナト氏もお招きして清掃作業を行った。氏の指示のもと、特殊な鉄で制作された碑を、水の飛沫を浴びながら洗い上げた。

6月19日には、北九州市の宗左近記念室（戸畑図書館内）の近くに設置された、記念のモニュメント「鐵偶（てつぐう）」の除幕式に参加。市川市が宗の終焉の地であるのに対して、北九州市は生誕の地。その縁もあり、交流をつづけてきたのである。

今年度開催予定活動

23年春には、3年ぶりに花見の会も再開の予定。



和心会〜紫翠庵

【粛々と奮闘努力の日々】

今年もコロナ禍の中で自粛の日々が続き、中断を余儀なくされた時もありましたが、一服の茶を喫して癒される処で在りたい願いを失う事なく、意気消沈する事なく、厳重な感染防止策のもとでお稽古や茶事の研修を続けています。

今年度開催予定活動

- ・11月 炉開きの茶
- ・12月 聖夜の茶 歳暮の茶
- ・1月 初釜 稽古初め
- ・2月 夜咄の茶事 観梅の茶
- ・3月 上巳の節句（摘草茶会） 利休忌



人形劇大好き！市川の会

9月八幡回遊展への参加出演
10月ベルホールで、自主公演
11月木更津子供まつりへの協力出演
12月は保育園、学童保育、子供会などのクリスマス会がやっとな復活。子供達の歓声に迎えられ、楽しい公演を続けています。
年明けは、2023年5月21日の「第4回いちかわおはなしフェスティバル」にむけての実行委員会活動がスタートします。新しい若いメンバーも加わり、さらに、楽しいフェスティバルを目指していきます。

新しい芸文協の
ホームページです！



市川市芸術文化団体協議会 YouTube ページの紹介

芸文協では、日頃の活動を YouTube ページなどを使ってお伝えしています。コロナ禍などで会場に来るのが難しい場合や遠い場所にお住まいの方、日程が合わずに見学できなかった方などにも楽しんで頂けるようにはじめたものです。現在は市川市芸術文化集會の様子などをアップしています。また、ホームページも一新して情報発信を進めています。芸術文化集會は、下記のQRコードを読み取りご覧ください。

2022年第29回市川市芸術文化集會



基調講演 講師
田中 甲 市川市長



展示部門
9/13～9/18



公演部門 市川市洋舞踊協会
三沢モダンバレエ&
ジャズダンススタジオ



公演部門 市川市合唱連盟
女声合唱コール・マーマ



公演部門 市川市芸能協会
光江流かつぼれ・ゆうづる太鼓

2021年第28回市川市芸術文化集會



基調講演 講師
米田 耕司 氏



基調講演
シンポジウム



展示部門
9/14～9/19



展示部門 前半
市川市花道協会



公演部門
市川オペラ振興会



公演部門
市川民話の会



公演部門
市川市芸能協会

天空の文化祭 2023

令和5年1月29日(日)～31日(火)

アイリンクタワーウェスト 45階展望室

地上45階での、芸文協加盟団体の、展示や公演と
市川市が誇る眺望をお楽しみ下さい!!



市川市芸術文化団体協議会加盟団体による展示と公演

流山市の史跡巡りをしました!

流山市文化協会の皆様との

交流もあり有意義な一日でした。

令和4年度の市川市芸文協秋の研修会は、令和4年11月9日(水)芸文協から23名の参加者で、今年は流山本町江戸回廊を散策しました。流山市文化協会のご協力により史跡ガイドの案内で充実の研修会となりました。

国の登録有形文化財の町並み、秋元家住宅土蔵、呉服新川家店舗などを抜け、江戸川沿いの矢河原(やっから)の渡しを見学。その後、千葉県近代教育発祥の地である常興寺、近藤勇陣屋跡、閻魔堂、浅間神社(流山の富士塚)、赤城山・赤城神社(「流山」地名発祥の地)を巡りました。赤城神社には大注連縄が奉納されています。また、流山万華鏡ギャラリーでは美しい作品に魅了されました。その後、クラシックな雰囲気のレストラン「茶豆蘭」で昼食をとり、午後は、一茶双樹記念館で流山市文化協会の方達との交流。思いがけずお茶席も用意していただき、和やかなひとときを過ごしました。

今回の研修会では流山市文化協会の方から心のこもったおもてなしをいただき、また大勢の会員の皆様に参加して下さいました。研修会の参加者からは流山市を知ることができてよかった、楽しい研修会だったという声が多くありました。天候にも恵まれ、充実した楽しい一日を過ごすことができました。

担当 市川市洋舞踊協会



賛助会員を募集しています!

市川市芸術文化団体協議会(通称:芸文協)は、昭和49年に、「文化都市いちかわ」の芸術文化振興の中核を担うべく、設立されました。以来市川市の文化芸術の原動力となり、市民の皆様と共に文化振興の一役を担って参りました。

加盟団体間の連携、情報共有をはじめ、芸術文化の振興のための事業を行っています。「文化集会」「天空の文化祭」を開催するとともに、加盟団体同士でコラボして、新しい芸術文化を進めています。今後のさらなる発展に向けて、より多くの皆様のご協力を頂きたいと思っております。

加盟団体の所属に関わらず、「個人賛助会員」として、芸術文化を応援して頂けましたら嬉しく思います。

※御協力頂けます方は、下記の事務局まで、御連絡を頂けましたら幸いです。

編集・発行 市川市芸術文化団体協議会 事務局 〒272-0021 市川市八幡 4-9-17 酒井玄枝方
TEL047-334-7832 HP [www.https://suntech.jpn.com/](https://suntech.jpn.com/)

市川市芸術文化団体協議会 加盟団体

市川市花道協会 市川交響楽団協会 市川民話の会 市川市合唱連盟
市川市洋舞踊協会 市川オペラ振興会 市川市手工芸連盟
市川市俳句協会 市川市芸能協会 輪の輪工芸美術会 芳香社
装道礼法きもの学院千葉県認可連盟市川支部 宗 左近・蕊の会
和心会～紫翠庵 人形劇大好き!市川の会